

ちゅうバスに関する市の運営方針について

平成31年3月に府中市コミュニティバス検討会議より提出された報告書を受け、ちゅうバスに関する今後の運営方針を決定いたしました。

1 検討会議から本市への報告内容

運賃改定について

運賃を150円に改定することを検討する。

(高齢者、障害者、小学生は100円とする。)

ICカードの導入について

ICカードを導入する。

交通不便地域の解消などについて

5路線の路線変更及び停留所の新設を行う。

2 ちゅうバスに関する市の運営方針

運賃改定について

以下のことを総合的に勘案し、運賃改定については、令和4年3月の中心市街地活性化計画期間終了後の経済状況を確認の上、適切な時期を見据えて是非を検討することとする。

- ・ 市中心部の買い物施設、公共施設へのアクセス性を高め、まちづくりに寄与することが、ちゅうバスの導入目的のひとつであること。
- ・ 市では、府中市中心市街地活性化基本計画を策定し、平成28年6月17日に国からの認定を受けており(計画期間 平成28年7月から令和4年3月) その中で、ちゅうバスを中心市街地の活性化に必要な事業と位置づけていること。
- ・ 令和元年9月の伊勢丹撤退をはじめとして、今後の中心市街地を取り巻く環境に変化が予想されること。
- ・ 運賃値上げに伴う利用者数の減少をはじめとして、中心市街地の活性化に与える影響が非常に大きなものと考えられること。

ICカードの導入について
平成30年4月1日 導入済み

交通不便地域の解消などについて

ア 実施済み事項

- ・平成29年4月17日 4ルートにおいて路線変更を実施
- ・平成30年10月1日 北山町循環及びよつや苑西ルートについて、府中駅ロータリーへの進入経路を旧甲州街道からの進入に変更

イ 調整中事項

- ・北山循環、よつや苑西ルート、四谷六丁目ルートへの停留所新設
今後も設置に向けて関係機関と協議を進める。
- ・朝日町ルートの白糸台6丁目方面への運行（旧甲州街道の東進）
運行時間の延長に伴う、運行経費の増加、運転手確保など課題が多く、長期的に検討を行っていく。